

## 市民と野党が変える

### 総がかり大行動「参院選勝つ」国会周辺4万人

「明日を決めるのは私たち—政治を変えよう！6・5全国総がかり大行動」（実行委員会主催）が5日、全国各地で取り組まれました。東京では国会正門前、農林水産省前、日比谷公園前3カ所に特設ステージが置かれ、野党の代表や各界・各分野の著名人がスピーチしました。「4万人以上が参加した」と報告した「総がかり行動実行委員会」の高田健さんは「全国でも100カ所以上で行動した。今日を出発点に参院選で必ず勝利しよう」と呼びかけました。

国会正門前ステージで開会あいさつした市民連合の山口二郎さん（法政大学教授）は「（参院選の）争点は憲法です。32の1人区で野党統一が決まるのはみなさんの力がもたらした奇跡。この1カ月、死に物狂いでたたかって勝利しよう。『選挙に行こう』の声を上げていこう」と力を込めました。

音楽評論家の湯川れい子さん、ジャーナリストの高野孟（はじめ）さん、明治大学教授の浦田一郎さん、SEALDs（シールズ）の奥田愛基



（写真）総がかり大行動で国会前に集まった人たち＝5日、東京都千代田区

(あき)さんらがスピーチしました。「安保関連法に反対するママの会@日野」の星野さなえさんは「平和を願う国民の願いを参院選で示しましょう」と訴えました。

民進党の枝野幸男幹事長、日本共産党の山下芳生副委員長、社民党の吉田忠智党首があいさつ。3氏はつないだ手を高く掲げ、「政治を変える 市民が変える」とのプラカードを掲げた参加者とともに「参院選は野党が勝利」「安倍政権を必ず倒そう」と全国いっせいコールをしました。

伊豆大島からかけつけた女性(73)は「今の政治は『おかしい』といいにきました。参院選は、自分たち一人ひとりが日本の未来をつくる気持ちで行動し、投票したい」。

しんぶん赤旗 2016年6月6日(月)

## 「総がかり大行動」国会正門前

### 3野党があいさつ

5日、国会・霞が関周辺でおこなわれた「総がかり大行動」。国会正門前の特設ステージであいさつした民進党の枝野幸男幹事長、日本共産党の山下芳生副委員長、社民党の吉田忠智党首の3氏は、それぞれ、参院選32の1人区すべてで野党統一候補が実現したのは共闘を求める市民の力であることを強調しました。

枝野氏は「勝たないといけない。憲法改悪という大争点を隠そうとする相手です。TPP(環太平洋連携協定)などで支え合い、助け合う社会と美しい国土を破壊する安倍自民党は保守でもなんでもないと訴えたい」と語りました。

山下氏は「野党の共通政策の中身も前進しています。アベノミクスによる国民生活の破壊、格差と貧困拡大の是正などです。野合呼ばわりされるいわれはありません」と強調。香川選挙区で、たなべ健一野党統一候補(日本共産党公認)を擁立する共産党県委員会と民進党県連との間で「有権者の正しい理解を求めるために」調印した確認書を紹介しながら、「安倍政権を倒し、国民の声が届くまともな政治をご一緒につくっていきましょう」と訴えました。

吉田氏は、安倍政権がすすめる政策には多くの国民が反対しながら、内閣支持率を保っていると指摘。「このねじれを1カ月間のたたかいで解消しよう」と呼びかけました。



(写真) 総がかり大行動で並んでコールする(左から)社民・吉田党首、民進・枝野幹事長、共産・山下副委員長＝5日、国会正門前

## 安倍政権に決着つける

### 「学者の会」行動 40大学から600人集う

安全保障関連法に反対する学者の会は5日、国会正門前の公園前で「全国大学有志の会総決起行動」を開催。40大学からの600人を超す参加者で会場はいっぱいになりました。

呼びかけ人の広渡清吾・前日本学術会議会長があいさつし、昨年の戦争法強行後も会の運動がさらに大きく広がったことを報告。「いよいよ安倍政権に決着をつけるときがきた」と参院選の重要性を訴えると拍手が起きました。

続いて、早稲田大学有志の会が「私たちの市民運動は運動会のように楽しく」と語り、棒倒しの棒に例えて安倍政権を倒す決意を表明。

「作成した5000枚のビラを各地に出向いて配布」（国立天文台関係者有志の会）、「県内5万人・県外4万1千人の避難者に補助を打ち切って帰郷を強要する政権はもうごめん」（福島県大学・短期大学研究者の会）、「全教員に安保法廃止署名を呼びかけたら、過半数が署名してくれた」（明星大学有志の会）、「大学人が連携して学生にも投票を呼びかけよう」（オール明治の会）と、発言が続きました。

シールズ琉球の元山仁士郎さん、シールズの寺田ともかさん、奥田愛基さんが連帯のあいさつ。元山さんが米軍属の女性遺体遺棄事件への痛憤を訴え「日本にとって沖縄ってなんだ」とコールすると、「沖縄ってなんだ」と大きなコールが返りました。



(写真) 総がかり大行動に先立って行われた全国大学有志の会総決起行動＝5日、国会正門前

## 「女の平和」国会包む

### 戦争への道を阻もう

### 参院選で野党勝利を

参院選で野党が勝利して、戦争への道をくい止めようと4日、国会周辺で「女の平和6・4国会ヒューマンチェーン」が行われました。多くの著名人や学者、国会議員も参加。赤い衣服やアクセサリを身に着けて5000人（主催者発表）が国会を包囲。「女たちは戦争法に反対します」「この国の主権者は私たちです」と手をつなぎ、コールしました。

同行動は今回で3回目です。埼玉県川口市から参加した女性（58）は「この一年で野党も変わったと感じています。政治を変えるために、これからも声を上げ続けたい」と話します。

主催者あいさつした、元中央大学教授の横湯園子さんは「参院選で野党が多数をとって安倍政権を追い込みたい。みなさん一緒にたたかいましょう」と呼びかけました。

学習院大学教授の青井未帆さん、音楽評論家の湯川れい子さん、作家の雨宮処凛さん、「総がかり行動実行委員会」の福山真劫さんらが次々に発言しました。

「明日の自由を守る若手弁護士の会」共同代表の黒澤いつきさんは、戦争法が強行された日のことを「今でも忘れていない」とのべ、「民主主義国家として当然のルールが壊されている。私たちが止めましょう」と訴え。

日本共産党の田村智子副委員長、畑野君枝衆院議員、民進党の大河原まさこ前参院議員が参加。社民党の福島瑞穂副党首、生活の党の小沢一郎代表のメッセージが紹介されました。



(写真) 戦争への道を止めようと国会周辺に集まった参加者＝4日、国会正門前

## 「明日をきめるのは私たち—政治を変えよう！ 6.5 全国総がかり大行動」・・・日比谷周辺



\* 右翼大量の街宣車が大音響で妨害するもスピーチに聴き入る参加者。



\*霞ヶ関の交流の広場で選挙で安倍内閣を倒そうと訴える福島瑞穂議員。



\*\* 6.5当日は国会正門、霞ヶ関、日比谷野音周辺は多数の参加者で溢れた。



\*年金者組合の組合員も多数参加した。